

2019年度プレテスト採点基準（英語）

大問1：すべての問題が、完答のみ正解。部分点数なし。

大問2：すべての問題が、完答のみ正解。部分点数なし。

大問3：すべての問題が、完答のみ正解。部分点数なし。

大問4

(1) は完答のみ正解。部分点数なし。

(2) Chris の返事が “On my bike.” なので、「どうやって私の家に来るつもりですか？」という内容にあたる英文が正解になる。

文法的間違いは減点。

大問5

(1) 解答の順序は問わない。

(2) ①、②ともに、6語以上にならない解答は0点。Chihiro が she になっていない場合、1点減。文法的間違いは減点。

① Ms. Yamada's が her や the になっていなくても減点なし。

at Ms. Yamada's flower shop が there となっていなくても減点なし。ただし、場所の情報がない場合は減点した。

for three days の情報がない場合、0点。

② cleaning の情報がない場合、0点。

by the door の情報がない場合、1点減。

(3)、(4) 完答のみ正解。部分点数なし。

大問6

・内容に対して6点の配点。

・ I want to に続く、したいことが書かれているか。ない場合0点。また、授業時間で実行することがあまりにも困難だと判断した場合も0点とした。

・ したいことを、さらに具体的に述べたり、なぜそれをしたのか理由を述べたり、説明したりしているか。

具定例1つ+理由（やエピソード、説明）1つ=6点

理由（やエピソード、説明）2つ=6点

同じような表現・内容の繰り返しと判断した場合、3点

・ 内容として、Ms. Brown のためとは判断できないような場合や、何を伝えたいのか判断し難い場合は減点。

・ 文法に対して4点。大文字小文字のミス、文法ミス、つづりミスは各1点減。最大4点減。ただし、内容点が0点の場合は、文法点は加点されない。

・ 指定語数（20語）に足りない場合、1語につき1点減。ただし、14語以下は0点。

採点に関する補足

①解答は、解答欄内に書ききりましょう。

英文で答える問題において、解答欄から解答がはみ出しているものがありました。

文字の大きさを調整して、解答欄内に解答を書きましょう。

解答欄をはみ出している場合、減点にしたものもあります。

②文字を正確に書きましょう。

何と書いてあるか判断に迷うものは減点しました。

例： rとv aとu tとf rとn iとl アとイ

上のはあくまで一例です。

また、一つの単語なのに、アルファベットとアルファベットの間隙間が広すぎるものも減点しました。

数学の試験などでの 0 と 6 などのもそうですが、採点者が間違いなく読めるように、丁寧に書きましょう。

2019年度プレテスト採点基準（国語）

〈1〉記述問題【一】の（三）、【二】の（四）、及び【四】の作文問題以外については模範解答以外すべて不正解とする。

〈2〉【一】の（三）について、

- ① 誤字脱字に関しては一種類につき1点減点。
- ② 文末が「～こと」もしくは同内容になっていない場合は1点減点。
- ③ 文末に「。」がついていないものは1点減。
- ④ 本文中に使われている漢字、もしくは簡単な漢字を平仮名で書いた場合は一種類につき1点減点。
- ⑤ 字数が制限字数に満たない場合、もしくはオーバーした場合は不正解。
- ⑥ 「竜巻（危険な状況）の中」という点に触れていれば2点。
- ⑦ ハルがミットを取りに行った理由が「左利き用のミットがなくなったら困る」という内容であれば2点。（「大切なミット」、「左利きのミット」のみは加点しない）
- ⑧ 「リュウセイが自分の代わりにミットを取ってきた」という内容があれば2点。
- ⑨ 「リュウセイがミットを取ってきた」という内容が読み取れないものは⑦⑧の内容があっても不正解。

〈3〉【二】の（四）について

- ① 誤字脱字に関しては一種類につき1点減点。
- ② 文末が「～こと」、「～内容」もしくは同内容になっていない場合は1点減点。
- ③ 文末に「。」がついていないものは1点減。
- ④ 本文中に使われている漢字、もしくは簡単な漢字を平仮名で書いた場合は一種類につき1点減点。
- ⑤ 字数が制限字数に満たない場合、もしくはオーバーした場合は不正解。
- ⑥ 「学校」「力」「教育」の三つの言葉がない場合は不正解。
- ⑦ 「不合理について教える」、「不合理を（あえて）見せる」という内容があれば2点。
- ⑧ 「なぜ不合理なのかを考える力」という内容があれば2点。（「考える力」のみは加点しない）
- ⑨ 「懐疑の精神」という内容があれば2点。
- ⑩ 「なぜ不合理なのかを考える力」と「懐疑の精神」を同義としてとらえていない場合は2点減点。

〈4〉【四】の作文問題について

- ① 正しい原稿用紙の使い方ができていない場合は一箇所につき1点減点。
- ② 誤字脱字、空欄など一種類につき1点減点。同じ漢字を何度間違えても1点減点のみ。
- ③ 文末が「です・ます」になっていない場合は1点減点。何度書いてあっても1点減

点のみ。

- ④ 句読点がない場合は一箇所につき1点減点。
- ⑤ 「簡単な漢字がひらがな」一種類につき1点減点。
- ⑥ 口語表現や話し言葉になっている場合は一種類につき1点減点。
- ⑦ 文意不明の箇所がある場合は2点減点。
- ⑧ 文が途中で終わっている場合は不正解。
- ⑨ 160字以上でなければ不正解。
- ⑩ 第一段落に賛成か反対、さらにその理由を書く。理由が書いてない場合は2点減点。
理由が第二段落に書いてある場合は2点減点。
- ⑪ 二段落構成でない場合は2点減点。
- ⑫ 二段落構成でなく（二段落構成だとしても）二段落の内容が全く書かれていない場合は5点減点。
- ⑬ 第一段落の「理由」、第二段落の「踏まえて」「生活にどのように生かす」などの「内容」は問わない。稚拙な理由でも正解とする。

2019年度プレテスト採点基準（数学）

大問1 完答。部分点なし。

大問2 (1)～(4)は完答。部分点なし。

(5)は点Pの表記がないものは2点。本来はフリーハンドの解答は不正解にする予定であったが、所持していない生徒が多数いたため、ある程度正確に手順が記されているものは正解とした。

大問3 (1)、(3)は完答。部分点なし。

(2)はアとイのいずれか一方が正解の場合は2点。

大問4 完答。部分点なし。

大問5 (1)は①、②、⑤の関係式が示されていれば各1点。3つの関係式が示されていることが条件で、それに合同条件と合同の式が示されていて4点満点。別解でも同様の配点となる。ただし、根拠の誤りや、文字、漢字の誤りなどがあればそれぞれ減じられる。

(2)は完答。部分点なし。

大問6 完答。部分点なし。

大問7 (1)は範囲と中央値のいずれか一方が正解の場合は2点。

(2)は完答。部分点なし。

大問8 完答。部分点なし。

※ 約分していないものは不正解。

※ 単位の重複、軽微な記載ミスは正解とした。

2019年度プレテスト採点基準（社会）

【部分点に関する共通事項】

解答に漢字がある場合のみ、次のような原則にたって採点をおこなった。なお、記号問題やカタカナ語の解答については部分点对応をおこなっていない。さらに、文章問題の採点方針は別とした（後述する）。

- ①誤字・ひらがなは一文字ごとに判別し、一か所該当するごとに1点減点。減点総数が配点と同じまたは下回った場合は不正解となる。
 - ②点や線が1つ足りない（または多い）、線が短い（または長い）、突き出し（「土」「工」、「天」「夫」）などの比較的軽微なものと思われるものを誤字と判定し、一文字につき1点減点とした。
 - ③部首または部首でない部分ともに「止め」や「はね」などはなるべく許容した。
 - ④漢字で書くべき解答をすべてひらがなで書いていた場合は不正解とした。
 - ⑤部首違いは別漢字とみなして不正解とした。（例：維持→推持）
 - ⑥同音異語（読みは同じだが別の漢字）の場合は不正解とした。（例：寝殿造→寝殿作）
- なお、上記にかかわらず文字が不鮮明あるいは雑なもの、消しが甘く2文字が重なって見えて判別できないもの等については、減点または不正解とせざるを得ない場合があった。以下、文章問題の採点方針を示す。

【プレテスト大問2(9)】

○Xについて

空欄 X の前に「日本とイギリスの鉄道輸送量は共通して」とあるので、両国に共通している事柄を説明できるかがポイントである。表4は旅客と貨物輸送量を示しているので、両者を比較して「貨物よりも旅客の方が多い（貨物が旅客よりも少ない）」ことを述べられているかどうかで判断した。以上の点をふまえ、減点対象とした主な項目を以下に示す。

- ・「重い（軽い）」「高い（低い）」という表現。
- ・「割合」という表現。
- ・「何が、何よりも多いのか（少ないのか）」などの比較がなされていない文。
- ・貨物の「貨」を「貸」と誤記したもの（非常に目立った）。
- ・文末に「～ことがわかる」など、文中の空欄後の文章と二重表現になってしまったもの。
- ・「多い」「少ない」などの字をひらがなで表記してしまったもの。

○Yについて

[模範解答]

「重いものや大量のものを輸送するのに適している」

「重いもの」「大量のもの」がわかる表現のどちらかが書かれていれば良しとした。細かい

表現については、下記を参照。

[可としたもの]

「輸送する」に代わる表現

- ・ 輸入できる
- ・ 運べる（ひらがなは不可）
- ・ 入る
- ・ 載せる（ひらがなは不可）
- ・ 積める
- ・ 重みに耐えられる
- ・ 重さのあるものに強い

「もの」に代わる表現

- ・ 物
- ・ 品

「大量のもの」に代わる表現

- ・ 量が多い

[不可としたもの]

- ・ ひらがな表記(2か所以上)
- ・ 重工業品を運ぶ…船舶で輸送することのメリットを明確に示していないため
- ・ 資源を運ぶ…同上

[減点]

- ・ ひらがな表記(載せる、運ぶ、荷物、重い)が1か所
- ・ (ものが)多い…品目の多さについては関係ない
- ・ 取引できる…輸出入額についての設問であり取り引きについてではない
- ・ 安い、低コスト…設問の表からは読み取れない
- ・ 時間がかかる…同上
- ・ 危険なもの…同上
- ・ 文末が問題文に適切につながっていないもの(ため、から で終わっている等)

【問3(5)について】

まず、資料1を「永仁の徳政令」と判断し、「御家人が売却した土地を無償で返却させる(借金の帳消し)」という、この法令の内容に言及したい。・・・2点分

その上で、次は、問題文にある「鎌倉幕府がこの法令を出した目的」について述べていきたい。その際、「御家人の不満の解消」や「幕府の信頼の回復」などだけでなく、その原因

である「御家人の生活苦(領地の売却・質入れ、借金など)」に触れ、そこからの「救済」を幕府は目指していたことに言及したい。・・・2点分

【大問4 (1) について】

出題：明治時代の就学率の変化に関する図を見ながら、1890年と1905年の違いについて男子と女子の就学率に触れながら書く。

必須要素：「1890年」と「1905年」という年号を必ず入れ、比較しなければならない。

また、次の内容を満たしていないければ、減点とする

「男子と女子を比較する」、「就学率という言葉を入れる」「主述の関係がしっかりしている」「就学率は、人間ではないので『多い・少ない』ではなく、『高い・低い』である」

その他の注意事項

* 図のパーセンテージを用いて説明する場合に、気を付けなければならないのは、その読み取りが正確かどうかということである。「約」という言葉を用いたりすればいいだろうという考えもあるが、本来図の数字は正確に読み取らねばならないもので、このような問題の場合は、むしろ数字を使う必要はない。

* 余計な説明はいらない。この問題は、条件に従って図を読み取ればよいので、原因説明などは一切いらない。例えば、学制の公布、教育勅語といった用語を用いて説明する必要はまったくない。

* 作文のポイント

1890年については男子と女子の就学率がかなり違うこと（男子の就学率が高い）

1905年については、全体の就学率が高まったことと、男女の「差が小さくなった」という書き方をすること。

2019年度レテスト採点基準（理科）

1. 模範解答のみ正解。
2. (2) ①漢字間違いは不正解とした。ひらがなの代用は正解とした。
②完答のみ正解とした。
(4) 模範解答以外は不正解とした。
(6) 模範解答以外の解答として、逆断層も正解とした。
3. (1) セキツイ動物は漢字の記載も正解とした。ただし、漢字を間違えたときは不正解。
(3) 肺と皮膚呼吸のどちらかしか書いていない場合は3点。このとき、肺を漢字で書けない場合は2点。皮膚は漢字ですべて書かなくても正解とした。皮膚は体の表面でも正解とした。肺と皮膚の2つのうち、一つをありえない答えを書いた場合（例えば肝臓、足の裏など）は不正解とした。
4. (1) 「狭い」も「せまい」も正解とした。ただし、漢字の間違いは不正解。
(2) ①のグラフは模範解答のみ正解とした。
5. (1) 溶媒のばいをひらがなで書いた場合は1点とした。漢字間違いは不正解とした。
(3) 約をつけても正解とした。
(5) 文章中の漢字の間違いは、たとえ内容があっていたとしても不正解とした。また、加熱と蒸発（沸騰）の両方がない場合は不正解とした。
6. (1) 寒冷は漢字で書いていないものは不正解とした。(5)の「偏西風」は「へん西風」でも正解とした。偏西風が書けていても季節風を書いた場合は不正解とした。

* 上記に記載がないものは模範解答のみを正解とした。基本的に名称を答えるものの漢字をひらがなで書いた場合は不正解とし、説明文で漢字をひらがなで代用した解答は正解とした。また、説明文で書いている内容が正解であっても漢字間違いがあった場合は不正解とした。